

開館20周年記念展

黄昏の

たそがれ



近代絵画に
描かれた
夕日・夕景

絵画たち

夕日の美術館へようこそ。

PICTURES OF TWILIGHT

The Evening Scene in Modern Painting



9/4 水 ▶▶▶ 11/4 月 振替休日



島根県立美術館

山陰放送開局65周年

世界の巨匠たちも 愛した「たそがれ」

コンスタブル
クールベ
コロ
ミレー
モネ
高橋由一
和田英作
菱田春草
萬鉄五郎
etc.

真っ赤な夕日、茜色に染まる夕焼け、そして日が沈み徐々に闇に包まれていく黄昏時。過ぎ去った時への郷愁を誘い、繰り返し訪れる明日を予感させる「夕日・夕景」は、洋の東西を問わず、古来、多くの人々の心を捉えてきました。

美術の世界を見渡しても、魅力的な夕景表現があふれています。西洋では、ミレーやルソーなどバルビゾン派の強い逆光表現から、モネやシスレーら印象派の画家たちの包み込むような光の表現まで、近代絵画の担い手たちが数多く夕景をテーマに取り上げました。

日本では、明治期に來日したフォンタネーがバルビゾン派的な逆光表現をもたらし、高橋由一らがその影響を受けています。その後、黒田清輝ら外光派の画家たちを中心に夕景表現が流行する一方で、「朦朧体」と呼ばれた菱田春草らの日本画や大下藤次郎に代表される水彩画、吉田博や川瀬巴水らの版画表現など、分野を問わず印象的な夕景が数多く描かれてきたのです。近代の美術家たちにとって「夕日・夕景」というテーマは、とりわけ魅力的で実りあるものだったと言えるでしょう。



ジョン・コンスタブル《ハムステッド・ヒースの木立、日没》1821年、静岡県立美術館 【展示期間】9/4-9/9



ジャン=フランソワ・ミレー《夕陽》1867年頃、ひろしま美術館【後期展示】10/9-11/4



クロード・モネ《睡蓮》1907年、和泉市久保惣記念美術館 【前期展示】9/4-10/7

川瀬巴水《東京十二題 木場の夕暮》1920年、島根県立美術館 【前期展示】9/4-10/7



クロード・モネ《サン=トドレスの海岸》1864年、栃木県立美術館



菱田春草《暮色》1901年、京都国立博物館【展示期間】9/4-9/16



和田英作《渡頭の夕暮》1897年、東京藝術大学



高橋由一《芝浦夕陽》1877年、金刀比羅宮



萬鉄五郎《太陽の麦畑》1913年頃、東京国立近代美術館



テオドール・ルソー《樹のある風景》制作年不詳、山梨県立美術館



アントニオ・フォンタネー《沼の落日》1876-78年頃、三重県立美術館

たそがれどき、
美術館も絵画になる

「日本の夕陽百選」にも選ばれている当館の開館20周年を記念して開催する本展では、80作家約180点(会期中一部展示替えあり)の作品を通じて、近代絵画に描かれた夕日・夕景表現の豊かな世界を紹介します。

「夕日に包まれる美術館」で素晴らしい夕日を描いた素敵な名画との出会いをどうぞお楽しみください。

PICTURES OF TWILIGHT

The Evening Scene in Modern Painting

黄昏の 絵画たち

関連イベント



記念講演会 聴講無料

「黄昏と曙：絵画に描かれた太陽と月」

講師 藤田治彦(神戸芸術工科大学教授/大阪大学名誉教授)
日時 9月8日(日)14:00~(13:30開場/90分)
会場 美術館ホール(190席・当日先着順)

ギャラリートーク 要企画展観覧料

日時 9月7日(土)、28日(土)、10月12日(土)
各日14:00~(60分)
会場 企画展示室

夕日色を科学する 参加無料

目を奪われるような夕日の色、光、その美しさの秘密に科学的な目線で迫ります。光の実験を実演するほか、光に関係する簡単な工作も体験できます。

講師 日野武志(出雲科学館 講師)

日時 10月12日(土) ①10:30~ ②15:30~ (各回30分前開場/90分)
会場 美術館講義室 対象 小学生以上(*小学3年生以下は保護者同伴)
定員 各回先着30名 協力 出雲科学館

連続美術講座 聴講無料

「黄昏の絵画たち」

講師 柳原一徳(当館専門芸芸員/本展企画者)
日時 [西洋篇] 9月23日(月・祝) [日本篇] 10月19日(土)
各日14:00~(各日13:30開場/90分)
会場 美術館ホール(190席・当日先着順)

サンセットギャラリートーク 要展覧会観覧料

日時 9月20日(金)、10月4日(金) 各日16:00~(60分)
会場 企画展示室

名画と旅する紅茶

展示作品にちなんで世界各国の紅茶を楽しめるブースが登場します。古今東西の巨匠たちの名画とあわせて、2日間だけの特別なティータイムをお楽しみください。

日時 9月28日(土)、29日(日) 13:00~15:00
会場 カフェスペース
協力 紅茶専門店パンジェンシー

ワークショップ 要事前申込 参加無料

① 夕日色のバスボムをつくろう

夕日色ってどんな色? オレンジや黄色、水色、カラフルな材料を使ってバスボム(入浴剤)を作ります。

日時 9月14日(土) ①10:30~ ②14:00~ (各回90分)
会場 アートスタジオ
対象 小学生以上(*小学3年生以下は保護者同伴)
定員 各回20名(*応募者多数の場合は抽選)

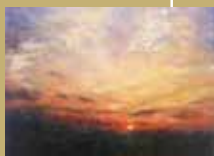


② 夕日を描こう! クレヨンワークショップ

クレヨンで思い出の景色を絵にしてみませんか? 絵を描くのが苦手な方、初めての方でも大丈夫です。一緒にクレヨン画を楽しみましょう。

講師 吉田瑠美(クレヨン画家・絵本作家)

日時 9月15日(日) ①10:00~ ②13:30~ (各回120分)
会場 アートスタジオ
対象 5歳以上(*小学3年生以下は保護者同伴)
定員 各回20名(*応募者多数の場合は抽選)



吉田瑠美(sunset)2018年クレヨン・板

③ 光のさざなみをつくろう

鏡の反射を利用して、光をつないで遊びます。みんなで光を集めて、その時限りの特別なキラキラ輝く光のさざなみを作ります。

日時 10月5日(土) 10:30~(90分)
会場 美術館ロビー
対象 小学生以上(*小学3年生以下は保護者同伴)
定員 20名(*応募者多数の場合は抽選)

*ワークショップは、お申し込みが必要です。

方法については、当館ホームページをご覧ください。

参加
しよう!

サンセット

ロビーコンサート 参加無料

日時 10月13日(日) 16:00~(約40分)
出演 JazzPopBand B.G.M.
会場 美術館ロビー



美術館キネマ 鑑賞無料

「父と娘」

DVD上映(2000年 イギリス・オランダ 8分)

日時 9月16日(月・祝)
①10:30~ ②11:30~
③13:30~ ④14:30~

会場 美術館ホール(190席・当日先着順)



©2000 - Cloudrunner Ltd and CinEte Filmproduktie bv

「風と共に去りぬ」

DVD上映:日本語吹替(1939年 アメリカ 3時間32分)

日時 9月22日(日)
第1部10:30~ 第2部13:00~
会場 美術館ホール(190席・当日先着順)

たそがれ
よう!

湖岸の夕日鑑賞用に
夕日マットを貸出します!



サンセット プレゼント

16:00以降ご観覧の方に
オリジナルノートと
プレゼントを
いたします。

レストラン 宍道湖夕日カクテル、宍道湖夕日ドリンク提供

黄昏365 これまでに年間を通して撮影された夕日写真を紹介!

開館時間 | 9月 | 10時~夕日が沈んでから30分

| 10-11月 | 10時~18時30分

*展示室への入場は閉館時刻の30分前まで

休館日 | 火曜日(ただし10月22日は開館)

〔観覧料〕

一般 当日券/企画展 1,000(800)円/企画展・コレクション展セット 1,150(920)円
前売券/企画展・コレクション展セット 900円

大学生 当日券/企画展 600(450)円/企画展・コレクション展セット 700(530)円

小・中・高生 当日券/企画展 300(250)円/企画展・コレクション展セット 300(250)円

- ()内は20名以上の団体料金 ●小・中・高生の学校教育活動での観覧は無料
- 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方、及びその付添人は無料
- 前売券は、ローソン各店(Lコード 61841)、チケットぴあ窓口(Pコード 769-818)、セブンチケット及び各プレイガイドにてお求めになれます。(販売期間:8/4~11/4)

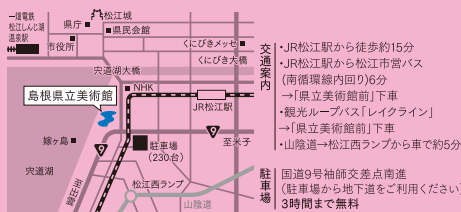
表紙作品: クロード・モネ《サン・トドレスの海岸》(部分)1864年、栃木県立美術館

山陰放送開局65周年

主催: 島根県立美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会、BSS山陰放送、SPSしまね

協賛: ライオン、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜

後援: 朝日新聞松江総局、毎日新聞松江支局、産経新聞松江支局、中国新聞社、山陰中央新報社、新日本海新聞社、島根日日新聞社、NHK松江放送局、TSK山陰中央テレビ、日本海テレビ、エフエム山陰、山陰ケーブルビジョン



毎週木曜日の午前中は
かぞくの時間
こどもといっしょの鑑賞優先時間
詳細はホームページへ!

島根県立美術館

〒690-0049 島根県松江市袖町1-15
Tel:0852-55-4700 Fax:0852-55-4714
https://www.shimane-art-museum.jp

次回予告 第52回島根県総合美術展(県展) 11月16日(日)~11月24日(日)
第66回日本伝統工芸展 12月4日(木)~12月25日(木)